

A

はじめに

ナビゲーションシステムについて ……………	A-2
現在地の測位について……………	A-2
現在地測位の仕組み……………	A-2
GPSが受信しにくい場所について……………	A-3
現在地(自車)マークのずれについて……………	A-4
逆走警告について……………	A-5
クイックGPSについて……………	A-5
自律航法(Gジャイロ)とマップマッチングについて…	A-5
車に吸盤スタンドを取り付ける ……………	A-6
ナビゲーションの取り付け位置について……………	A-6
取り付け上のお願い……………	A-7
取り付け前について……………	A-7
取り付け角度・寸法について……………	A-8
吸盤スタンドの取り付けかた……………	A-8
吸盤スタンドの取り外しかた……………	A-12
コードクリップの取り付け／取り外しかた……………	A-13
車にVICSアンテナを取り付ける ……………	A-14
VICSアンテナの取り付け位置について……………	A-14
取り付け上のお願い……………	A-14
取り付け前について……………	A-14
VICSアンテナの取り付けかた……………	A-15

動作の種類と走行中の制限について ……………	A-18
動作の種類(車動作・家庭動作・電池動作)……………	A-18
について……………	A-18
制限される主な機能……………	A-18
走行／停車判定方法について……………	A-19
電源について ……………	A-19
主電源スイッチと電源ボタンについて……………	A-19
シガーライターコード／ACアダプターで使用する…	A-20
内蔵電池で使用する……………	A-21
本機の電源を切る……………	A-22
SDメモリーカードについて ……………	A-23
SDメモリーカードの取り扱い……………	A-23
SDメモリーカードを挿入する／取り出す……………	A-24

ナビゲーションシステムについて

現在地の測位について

本機をお買い上げ後、初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地周辺の地図が表示されるまで、見晴らしの良い場所をしばらく走行してください。

- 現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。
- 初めてご使用になるときや、初期化してお買い上げ時の状態に戻した場合は、現在地を測位するまで現在地(自車)マークは東京駅周辺を表示します。
- ご自宅や車庫など屋内では、GPS衛星電波が受信しにくく現在地を測位しませんので、見晴らしの良い場所で測位を行ってください。

現在地測位の仕組み

本機ではGPS、準天頂衛星システム「みちびき」、グロナスの3衛星を利用して現在地測位を行います。

● GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省によって運用されている衛星測位システムです。

● 準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、より高精度で安定した測位を行います。

※本機は準天頂衛星システム「みちびき」初号機のみに対応しているため、電波を受信できる時間帯が限られます。

● グロナス(GLONASS : Global Navigation Satellite System)

ロシア宇宙軍によって運用されている衛星測位システムです。

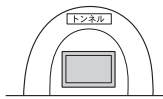
※衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。

※本書では特にことわりのない限り、上記衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS情報」「GPS衛星電波」など総称して表記しています。

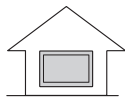
GPSが受信しにくい場所について

次のような場所ではGPS衛星電波が受信しにくくなります。

- トンネルの中



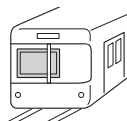
- 建物の中



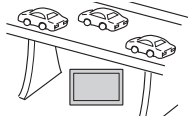
- 樹木の間



- 自動車以外の乗り物の中



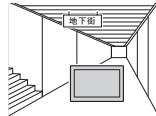
- 高速道路の下



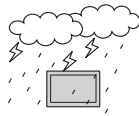
- 高層ビルなどの間



- 地下街



- 曇りや雨など悪天候の場所



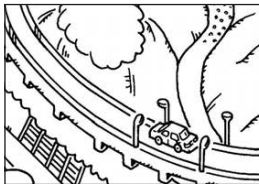
※同じ場所でも、次のような理由でGPS衛星の受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星電波の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の機器(ETC車載器、無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

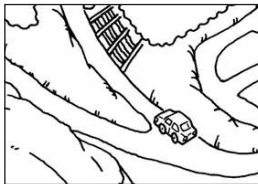
現在地(自車)マークのずれについて

現在地(自車)マークの位置や進行方向は、下記のような走行条件などでずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物がない見晴らしの良い場所を、しばらく走行すると現在地の位置が補正され、正常に使用することができます。

- 直線や緩やかなカーブの長距離走行



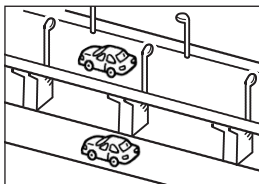
- 緩やかなY字路の走行



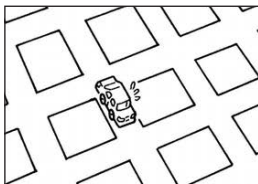
- S字の連続する道路の走行



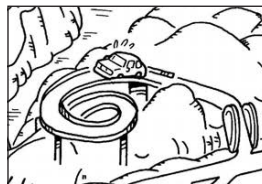
- 高速道路と一般道路が近くにある場所の走行



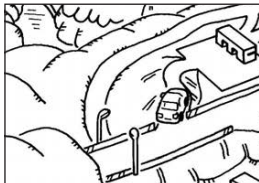
- 碁盤目状の道路や近くに似た形状の道路がある場所の走行



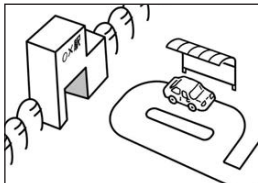
- ループ橋などの走行



- 地図画面に表示されない道路、新設された道路、改修などで形状が変更された道路などの走行



- 駅のロータリーや、道路に隣接する私有地・駐車場に入った場合



お知らせ

エンジンをかけてすぐ走行した場合も、現在地(自車)マークの向きがずれたり動かないことがあります。

逆走警告について

高速道路で逆走のおそれがある場合は、逆走のおそれがある旨を警告します。
逆走警告は高速自動車国道で案内します。

- 高速自動車国道は、東名高速道路などの主要な高速道路を指します。
- 首都高速道路などの自動車専用道路は対象外です。

下記のような場合などでは、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 地図ソフトに収録されていない道路、または形状が変更された道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)、その他特定のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)内を走行しているとき
- 本機が故障しているとき
- GPS衛星電波が受信しにくい場所での走行や他の機器からの電波の影響(図A-3)、GPS衛星電波をさえぎる場所への取り付けなどで、GPS衛星電波が正常に受信できていないとき
- 地図画面に表示される現在地(自車)マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 周囲に分岐車線・合流車線の無い本線上でUターンしたとき

下記のような場合などでは、逆走していなくても警告案内を行うことがあります。

- 地図ソフトに収録されていない道路、または形状が変更された道路を走行しているとき
- 地図画面に表示される現在地(自車)マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 本機が故障しているとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

クイックGPSについて

本機が過去6日以内に受信したGPS衛星データを用いて現在のGPS衛星位置を予測することにより、GPS衛星を捕捉しやすくし、本機を起動したときに捕捉までの時間を早めます。

本機を起動した時間が、過去6日以内にGPS衛星データを受信した時間帯と異なる場合、または前回起動から6日以上経過している場合には機能しません。

自律航法(Gジャイロ)とマップマッチングについて

GPS衛星電波を受信しにくい高架下やトンネルなどでも、本機に搭載のジャイロセンサーと加速度センサーを利用した自律航法で現在地を補正します。現在地が道路以外(例えば川の中など)になった場合は、マップマッチングで誤差を補正し、近くの道路上に現在地を表示します。

- 自律航法を動作させるためには、本機を付属の吸盤スタンドに装着し、正しい角度で取り付けてください。誤った角度で取り付けられた場合、自律航法は動作しません。図A-8
- 自律航法は、GPS衛星電波を受信してしばらく走行し、センサー学習をしてから動作を始めます。
- 自律航法動作時でも、GPS衛星電波を受信できない状態が長く続いたり、分岐のあるトンネルなどを走行中は、自車位置に誤差が生じたり停止する場合があります。

車に吸盤スタンドを取り付ける

付属の吸盤スタンドを車に取り付けます。

※作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご依頼ください。
(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

ナビゲーションの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、下部イラストのように、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。また、前面ガラスおよび側面ガラス(運転者席の左右)への取り付けは、保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

*印…道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)
道路運送車両の保安基準 第44条(後写鏡等)

最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。

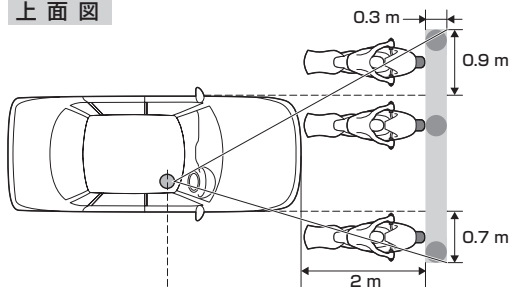
前方視界について

■ 基準概要

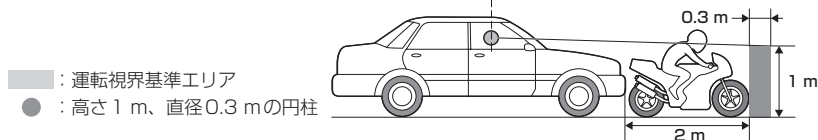
自動車の前方2 mにある高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用いず直接確認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。
左ハンドルの場合は、左右逆になります。

上面図



側面図



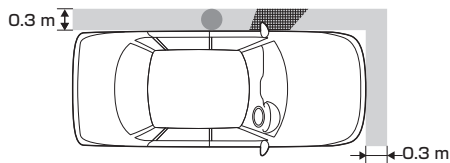
■ : 運転視界基準エリア
● : 高さ1 m、直径0.3 mの円柱

直前直左視界について

■ 基準概要

自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したものを)を直接に又は鏡、画像等により間接に視認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。
左ハンドルの場合は、左右逆になります。



■ : 運転視界基準エリア
● : 高さ1 m、直径0.3 mの円柱
■ : 適用外エリア
(Aピラーまたは室外後写鏡により)
視界が遮られるエリア

取り付け上のお願ひ

- 吸盤スタンドを取り付ける前に、取り付ける位置を決め、取り付け場所でナビゲーション本体がGPS衛星電波やワンセグを受信できるかどうか確認してください。
- 必ず指定の吸盤スタンドを使用してください。
- フロントガラスには取り付けないでください。
- 吸盤スタンドや取付用シートなどの貼り付け場所は必ず付属のクリーナーできれいに拭き、ほこりや油分などを取り除いて完全に乾燥させてから貼り付けてください。
※車によってはクリーナーでダッシュボードが変色する場合があります。あらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。変色した場合は、付属のクリーナーを使用せず、水にひたした布(毛羽立たない素材など)を固くしぼって拭いてください。
※ベンジンやシンナー類などは使用しないでください。
- 取付用シートなど粘着テープを使用する付属品は貼りなおさないでください。
- 運転前は、吸盤が確実に吸着していることを確認してください。

説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や、通常の使用目的から逸脱した使いかたをされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

取り付ける前に

- エアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになる場所には取り付けないでください。
(取り付け位置の安全性を考慮し、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談のうえ、取り付け位置を決めてください。)
- 吸盤スタンドおよび取付用シートの貼り付け位置はダッシュボード上の凹凸のない平らな面をお選びください。また、吸盤スタンドをダッシュボード上に軽く置いたときに吸盤の外周がダッシュボードと均等に密着し、すき間がないことを確認してください。
- 下記のような場所には絶対に取り付けないでください。吸盤スタンドが外れ落下するおそれがあります。

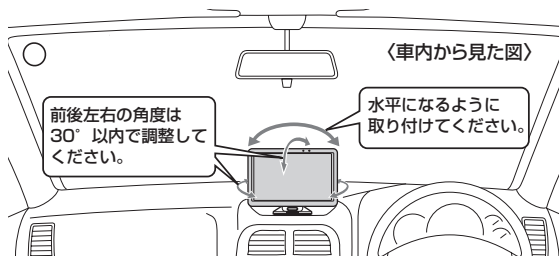


取り付け面が密着しない曲面	傾いた面	不安定な面	垂直な面

取り付け角度・寸法について

ナビゲーション本体の取り付けには、下記の角度および取り付けスペースを参考にしてください。

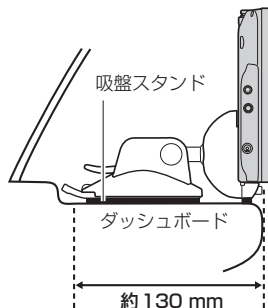
取り付け角度



※付属の吸盤スタンドを使用して、ナビゲーション本体をしっかりと固定してください。

※自律航法を動作させるため前後左右の角度は30°以内で調整してください。それ以外の角度で取り付けると自律航法は動作しません。

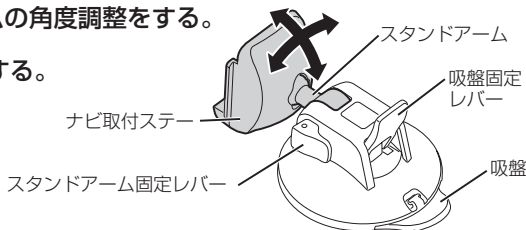
取り付けスペース



吸盤スタンドの取り付けかた

1 ナビ取付ステーとスタンドアームの角度調整をする。

① ナビ取付ステーの角度を調整する。



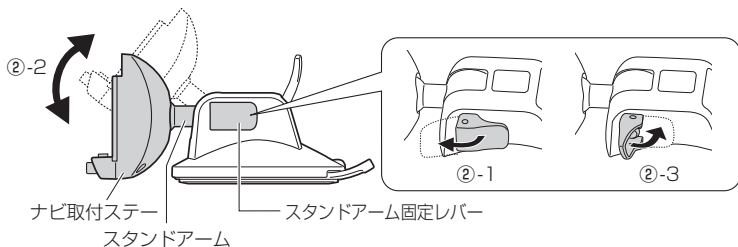
お願い

ナビ取付ステーはスタンドアームに対して自由な方向に動かせます。動きが固すぎる／固定具合が弱すぎる場合は、右記のように正面のねじをドライバーなどの工具で調整してください。

※ナビゲーション本体を取り付けて使用中、ゆるまな程度に動きが固めの状態にしてください。

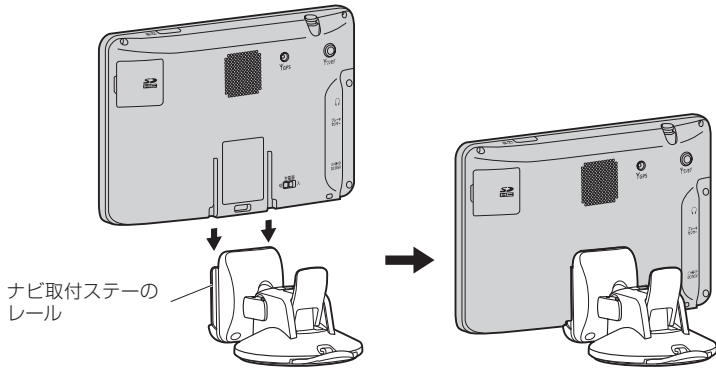


② スタンドアーム固定レバーを起こして、スタンドアームとナビ取付ステーの上下位置を調整し、スタンドアーム固定レバーを倒して固定する。



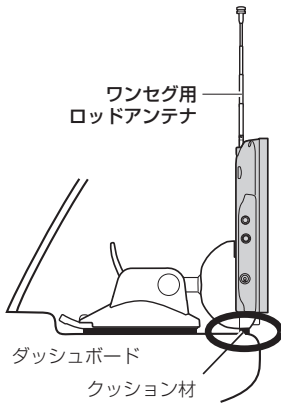
2 ナビ取付ステーにナビゲーション本体を取り付ける。

※ナビゲーション本体裏面のみぞをナビ取付ステーのレールに合わせて、“カチッ”と音がするまで入れてください。



3 ダッシュボード上の見やすいところに取り付ける位置を決める。

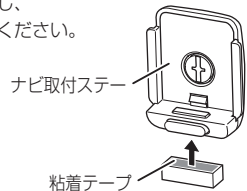
※取り付け位置が決まったら、ナビ取付ステーからいったんナビゲーション本体を取り外してください。取り外しかたについては、[図 A-12](#)をご覧ください。



お願い ワンセグ用ロッドアンテナをまっすぐ上にのぼしてフロントガラスに当たらないことを確認してください。

振動によるぐらつきやダッシュボードへの傷などを防ぐため、ナビ取付ステーの底面に付属のクッション材を必ず貼り付けて、クッション材がダッシュボードに当たるように調整してください。
※ダッシュボードに強く当てすぎると吸盤が外れる場合があります。

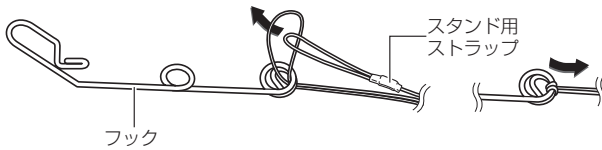
粘着テープのはくり紙をはがし、ナビ取付ステーに貼り付けてください。



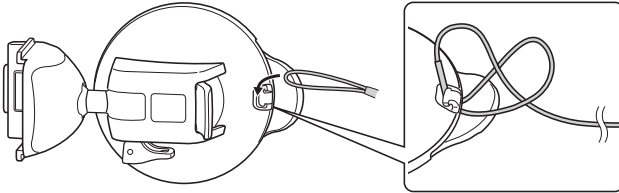
4

フックおよびスタンド用ストラップを取り付ける。

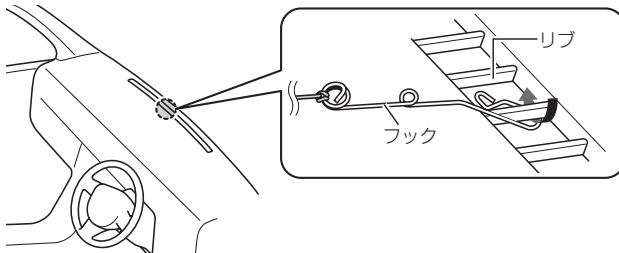
- ① フックにスタンド用ストラップを通し、結んで取り付ける。



- ② 吸盤スタンドにスタンド用ストラップを通し、結んで取り付ける。



- ③ フックを車のデフロスタ(フロントガラス下の送風口)のリップ部へ取り付ける。

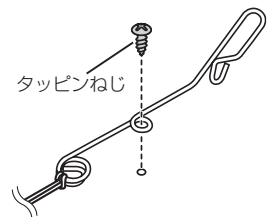


デフロスタへ取り付けできない場合は、付属のタッピンねじでフックを固定してください。

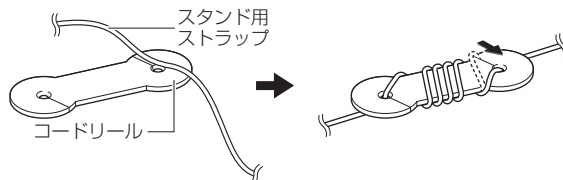
※ダッシュボードに穴があくことをご了承ください。

お願い

タッピンねじを取り付けるときに、ダッシュボードが割れたり、ダッシュボード内の配線などに干渉する可能性がありますので、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談ください。



- ④ スタンド用ストラップをコードリールに巻き付け、スタンド用ストラップが緩まないように長さを調整する。



5 取付用シートを貼り付ける。

※ダッシュボードの材質や表面状態によっては、吸盤の吸着力が十分得られないことがありますので、必ず付属の取付用シートを使用してください。

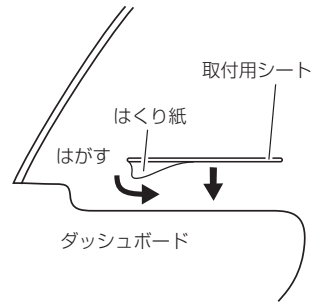
取付用シートを貼り付ける前に必ずお読みください。

- 取付用シートの貼り付け場所を付属のクリーナーできれいに拭いてください。
- 貼り付けは1回のみです。貼りなおしができないので慎重に取り付け場所を決めてください。
- 空気が入らないよう端から貼って、強く押し付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)場合は粘着力が低下します。車内ヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。
- 貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、取付用シートのみ状態で放置してください。

① 取り付け位置を付属のクリーナーできれいに拭き取り、完全に乾燥させる。

② 取付用シート裏面のはくり紙をはがし、吸盤スタンドの取り付け位置に貼り付ける。

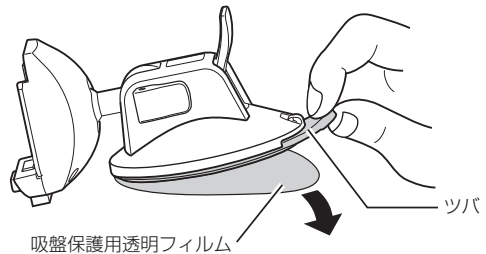
※取付用シートが浮かないよう粘着面全体を上からしっかりと押さえ、取付用シートの周囲にすき間がないように貼り付けてください。
粘着面全体が貼り付けされていない場合は、振動などで脱落するおそれがあります。



6 ダッシュボードに吸盤スタンドを取り付ける。

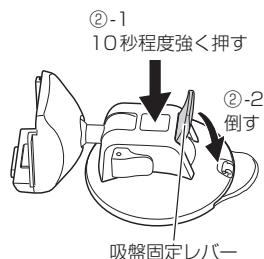
① 吸盤面に付いている吸盤保護用透明フィルムをはがす。

※すでに吸盤保護用透明フィルムをはがし、吸盤面に吸盤スタンド保護用シートを貼り付けている場合は、吸盤後方のツバ部分を持ち、ゆっくりと吸盤スタンド保護用シートをはがしてください。



② 吸盤をダッシュボードに10秒程度強く押しながら、吸盤固定レバーを倒し吸着させる。

※しっかりと吸着できているか、吸着スタンドに力を加えて確認してください。



お願い

- 吸着力を強くするため、10秒程度押し続けてください。
- 取付用シートを使用する場合は、吸盤面がはみ出さないようにしてください。
- 吸盤面が汚れると吸着力が低下しますので、定期的な清掃をおすすめします。毛羽立たない柔らかい布かスポンジに少量の水をふくませ、吸盤面の汚れを取り除くように拭き、完全に乾燥させてからご使用ください。
※水以外では拭かないでください。
- 吸盤スタンドを清掃するなどしても吸着力が弱いと感じる場合は、取り付ける位置を変更するか、取付用シートを貼り付けてから吸盤スタンドを取り付けてください。
【[P A-11 手順 5](#)】
- 光沢面に吸盤スタンドを貼り付けると、吸着力が増してはがしにくくなる場合があります。光沢面に貼り付ける場合は、取付用シートをご使用ください。
【[P A-11 手順 5](#)】

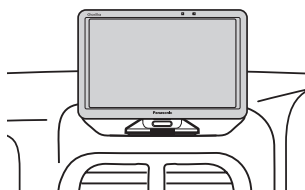
7 ナビゲーション本体を取り付ける。

※【[P A-9 手順 2](#)】を参考に、ナビゲーション本体をナビ取付ステーに取り付けてください。

※吸盤スタンドのスタンドアーム固定レバーはしっかり倒しててください。固定が弱いと、車の振動などでレバーがゆるみ、ナビゲーション本体の取り付け角度が変わるおそれがあります。

お願い

吸盤スタンド各部のゆるみ、吸盤が外れそうになっていないかなど、定期的な点検してください。



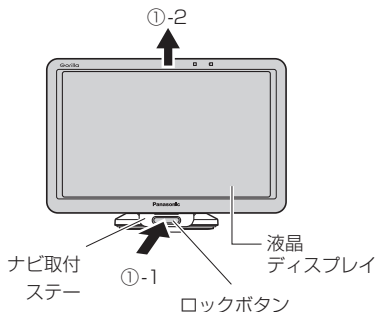
吸盤スタンドの取り外しかた

■ ナビゲーション本体をナビ取付ステーから外す場合

- ① ナビ取付ステーのロックボタンを押しながらナビゲーション本体を上向きにスライドさせる。

お願い

液晶ディスプレイを持って、ナビゲーション本体を取り付けたり、取り外したりしないでください。

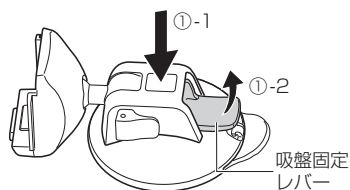


■ 吸盤スタンドをダッシュボードから外す場合

※吸盤スタンドを外す前に、吸盤スタンド後方に取り付けられているスタンド用ストラップを外してください。

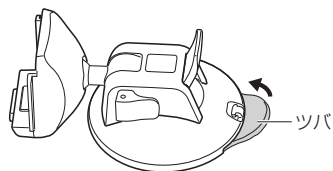
- ① 吸盤スタンドを押したまま吸盤固定レバーを持ち上げる。

お願い 吸盤固定レバーを持ち上げるときに、指をはさまないようにご注意ください。



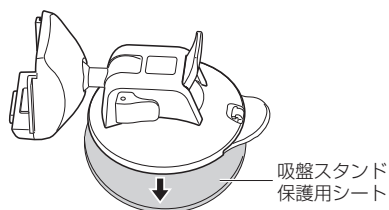
- ② 吸盤後方のツバ部分を持って吸盤スタンドを持ち上げゆっくりとはがす。

※吸盤スタンドを取り外すときに、使用環境により吸着力が強くなる場合がありますので、吸盤スタンドのツバをゆっくり持ち上げて取り外してください。



- ③ 吸盤スタンドを取り外したあと、吸盤スタンド保護用シートに貼り付ける。

※取り外したあとは吸盤面の汚れを取り除き、付属の吸盤スタンド保護用シートを取り付けて保管してください。



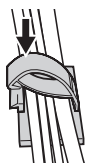
コードクリップの取り付け／取り外しかた

コードを束ねるときに付属のコードクリップを使用して束ねてください。

■ 取り付ける場合

- ① コードをコードクリップに入れ、“カチッ”と音がするまで押してロックする。

※ロック後、コードクリップ裏面のはくり紙をはがし、貼り付けてください。



■ 取り外す場合

- ① 下記イラストのようにスライドさせて、ロックを解除する。

